

## ごあいさつ

熊本博物館は昭和 27 年（1952 年）に開館しました。おかげさまで令和 4 年（2022 年）2 月に創立 70 周年の節目を迎え、次の時代に向けて新たな一步を踏み出すことができました。これまでの長きにわたり、当館の諸活動にご支援とご協力を賜っております皆さまに心より感謝申し上げます。

当館は、「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」という四つの基本理念のもと活動を展開してまいりました。平成 30 年（2018 年）12 月のリニューアルオープン後もこの理念に基づき、「未来へつなぐ熊本の記憶－集める・伝える・創造する－」という全体テーマを掲げて新たな歩みを続けております。総合博物館として、皆さまの知的好奇心に働きかけ、熊本市の自然・歴史・文化への興味や理解を深めていただけるような唯一無二の博物館運営を目指して、日々取り組んでいるところです。

令和 4 年（2022 年）度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた一方、規制緩和が進んだことで多くの展覧会・行事・イベント等を中止することなく運営することができました。特に 70 周年という節目にあたり、リニューアルオープン後、年間を通して最も多くの来館者を迎えることができたのは幸甚です。

春には収蔵品展「肥後のやきもの」、夏には 70 周年記念特別展「世界の大翼竜展」、秋には 70 周年記念および政令指定都市移行 10 周年記念企画展「あつまれ！地域の宝もの－熊本市域にのこる“文化財”のミリオク！－」、冬には企画展「熊本城と明治維新一藩から県へ、そのとき城は？－」、「くまもと市遺跡発掘速報展 2022」（文化財課と共催）、年度末には企画展「立田山－身近な自然の魅力－」（2023 年 5 月まで）と、当初の予定通り全ての展覧会および関連イベントを開催し、総合博物館ならではの多種多様な研究活動の一端を広く紹介することができました。加えて、市民向けの通年講座や学校と連携した学校教育支援事業など、教育普及活動も通常の姿を取り戻しつつあります。今後も次の 10 年に向けて、博物館活動のさらなる充実を図ってまいります。

本年度から改正された博物館法にも鑑み、今後も長年蓄積されてきた熊本の様々な営みをわかりやすく、楽しくお伝えし、多くの皆さまに親しまれる博物館を目指してまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年（2023 年）6 月  
熊本博物館長 竹原 浩朗